

第2次まちづくり計画 町民アンケート調査結果 (概要版)

ご協力ありがとうございました！

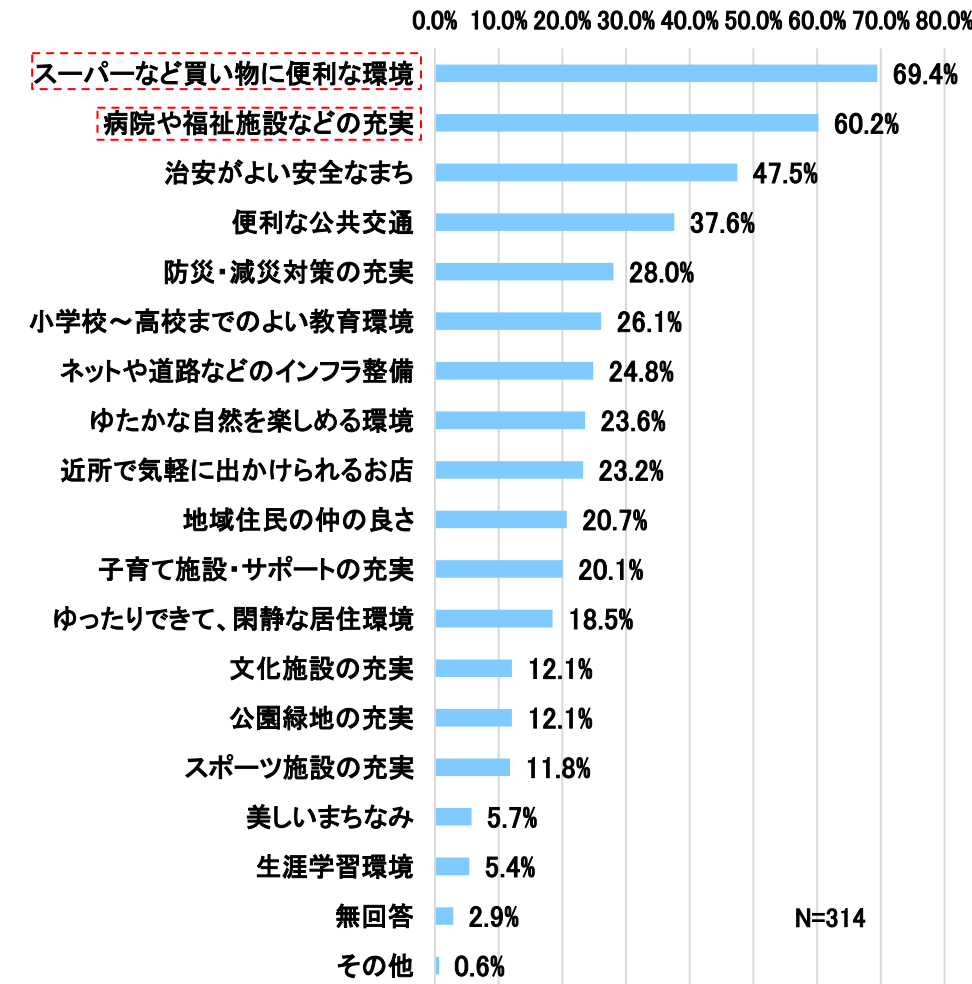


項目	内容
調査対象	・むかわ町在住の15歳以上の町民のうち、無作為に抽出した1,050人の町民
調査方法	・郵送による配布、郵送回収またはWeb回答
回収状況	・配布数 1,050票 ・回収数 314票(郵送回答 228票/Web回答 86票) ・回収率：29.9%

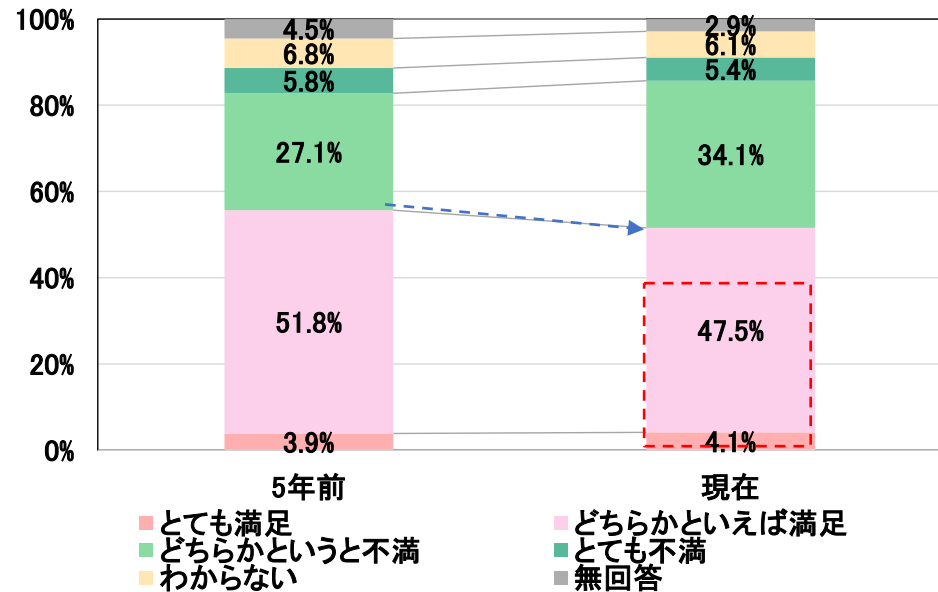
1 暮らす環境として重要だと考える項目（重要度）・むかわ町での暮らしの満足度

- 暮らす環境の重要度が特に高い項目は、「スーパーなど買い物に便利な環境」が最も多く69.4%、次いで「病院や福祉施設などの充実」が60.2%と、同2項目が選択率50%を超えている。
- 総合的な暮らしの満足度は、満足（「とても満足」、「どちらかといえば満足」）と回答した人は51.6%となっている。5年前と比べると「とても満足」と答えた人の割合は微増したものの、**全体的に満足度はやや減少**している。
- 暮らしの満足度が特に高い3項目は、「ゆたかな自然」「ゆとりある閑静な居住環境」「地域のつながり、仲の良さ」、満足度が特に低い3項目は、「公共交通の利便性」「飲食店などのお店」「医療や福祉施設の充実度」となっている。5年前と比べると、「買い物の利便性」「飲食店などのお店」「医療や福祉施設などの充実」「子育て環境」「教育環境」「文化施設」「公共交通の利便性」「地域のつながり、仲の良さ」の8項目で満足度が低下、**「スポーツ施設」「ゆとりある閑静な居住環境」「ゆたかな自然」「美しいまちなみ」「インフラ整備」の5項目で満足度が上昇**し、その他の4項目では満足度はほぼ変わらない。

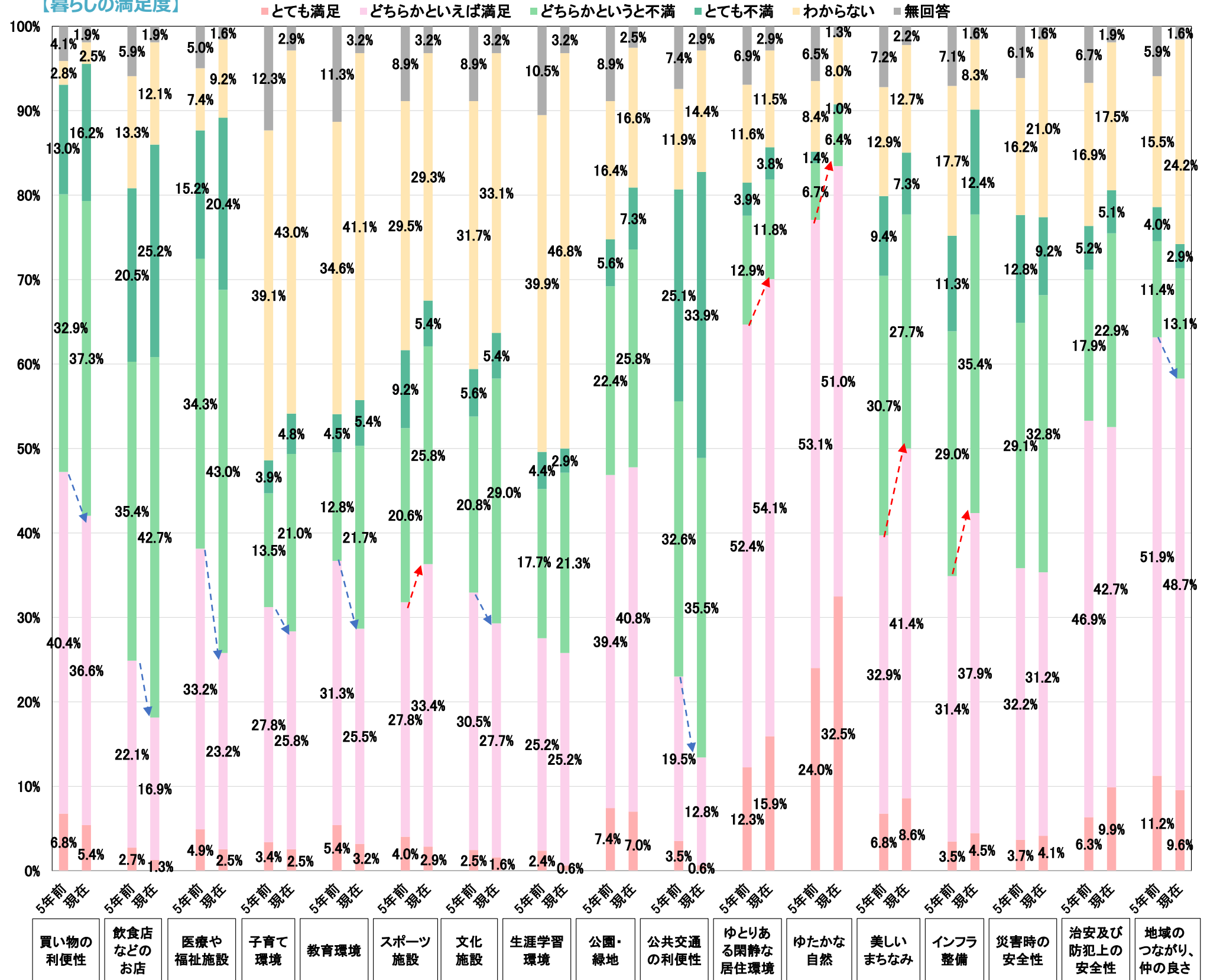
【暮らす環境としての重要度】



【総合的な暮らしの満足度】



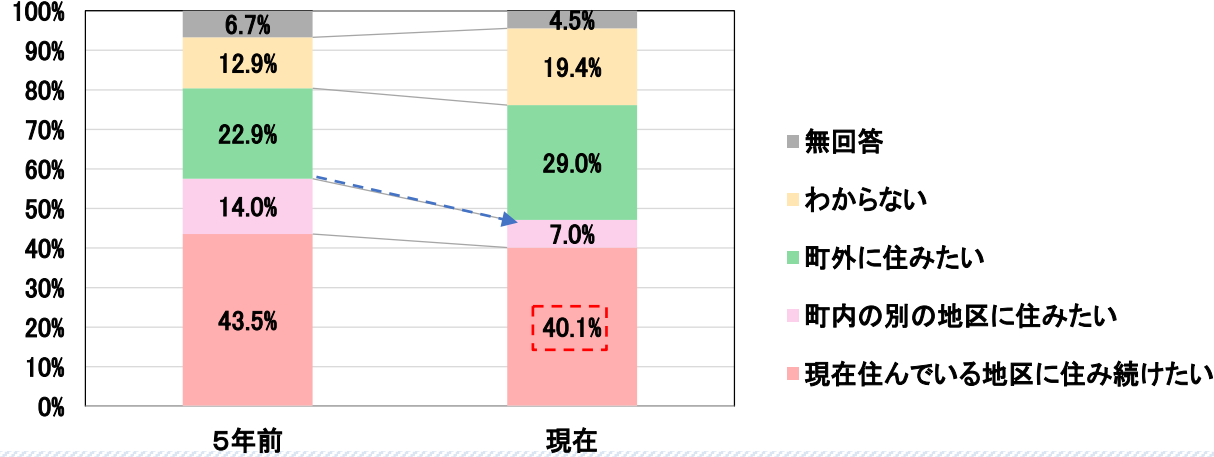
【暮らしの満足度】



2 将来の居住希望

- ・将来の希望居住先については、「**現在住んでいる地区に住み続けたい**」が40.1%と最も多い。
- ・5年前と比べると、「**現在住んでいる地区に住み続けたい**」と「**町内の別の地区に住みたい**」と答えた人の割合が減り、「**町外に住みたい**」と答えた人の割合が増加。

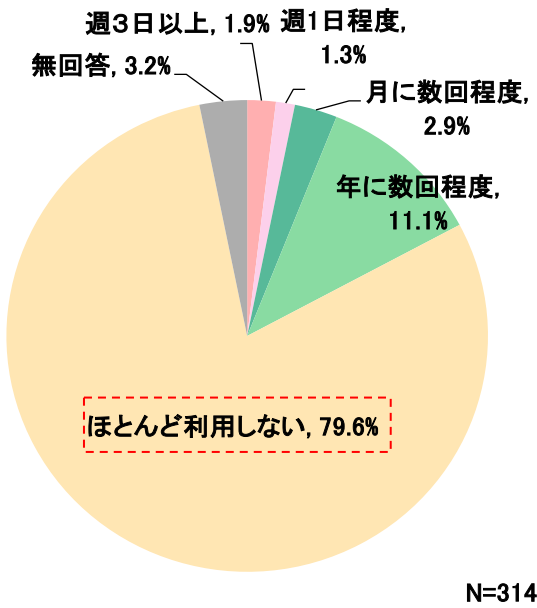
【将来の希望居住先】



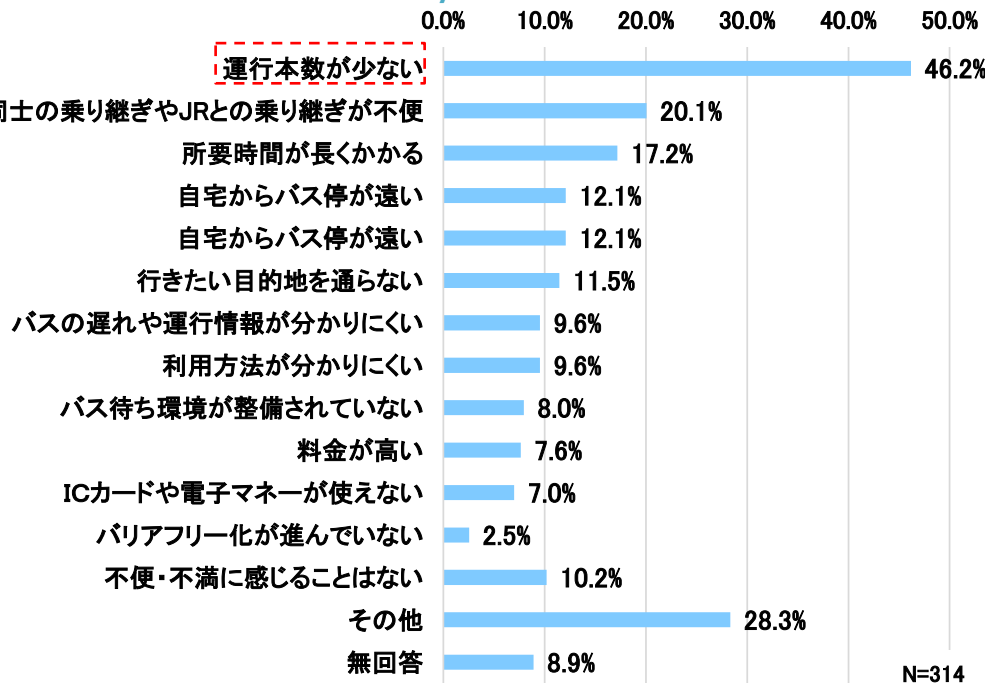
3 公共交通（バス）の利用頻度・不便や不満に感じること・より使いたくなる改善や取組

- ・バスの利用頻度は、「**ほとんど利用しない**」と回答する人の割合が最も高く、79.6%となった。
- ・バスを利用して不便・不満に感じることあるいは利用しない理由については、「**運行本数が少ない**」が46.2%と**その他の選択肢の2倍以上**となっている。
- ・バスを利用したくなる取組や改善については、「**JRや高速バスとの乗継を考慮したバス運行ダイヤとする**」が最も多く34.4%、**次いで「運転免許返納後は、料金が割引されるようにする」**が30.6%と同2項目が30%を超えている。

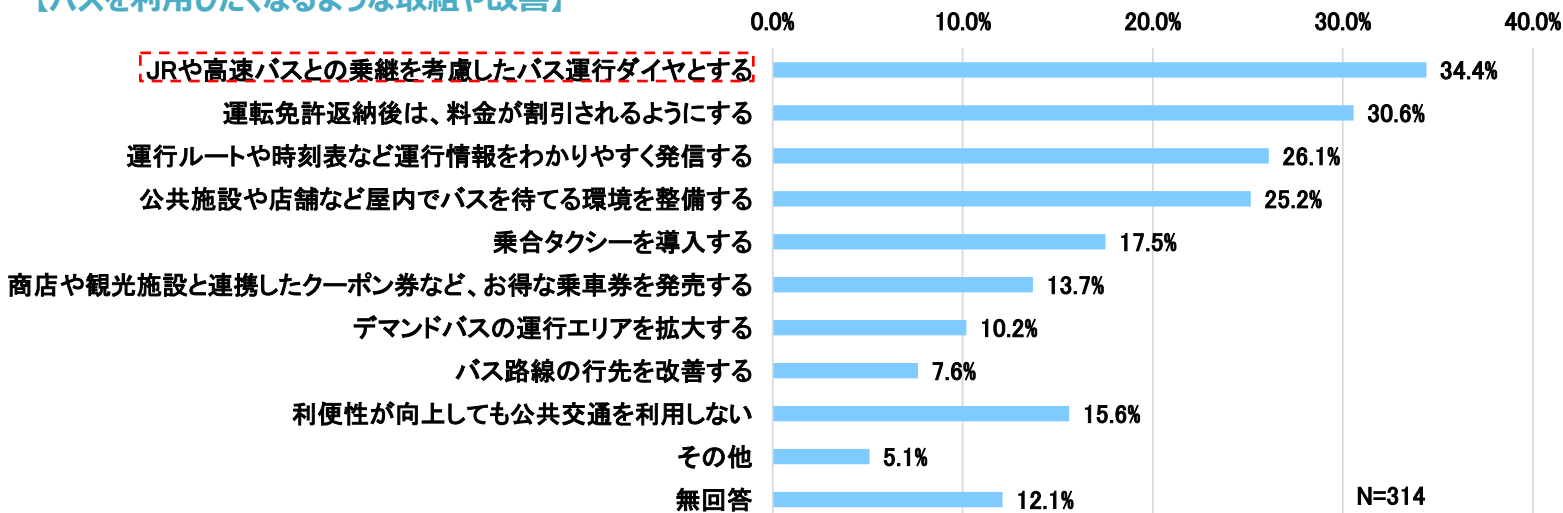
【バスの利用頻度】



【バスを利用して不便や不満に感じること/利用しない理由】



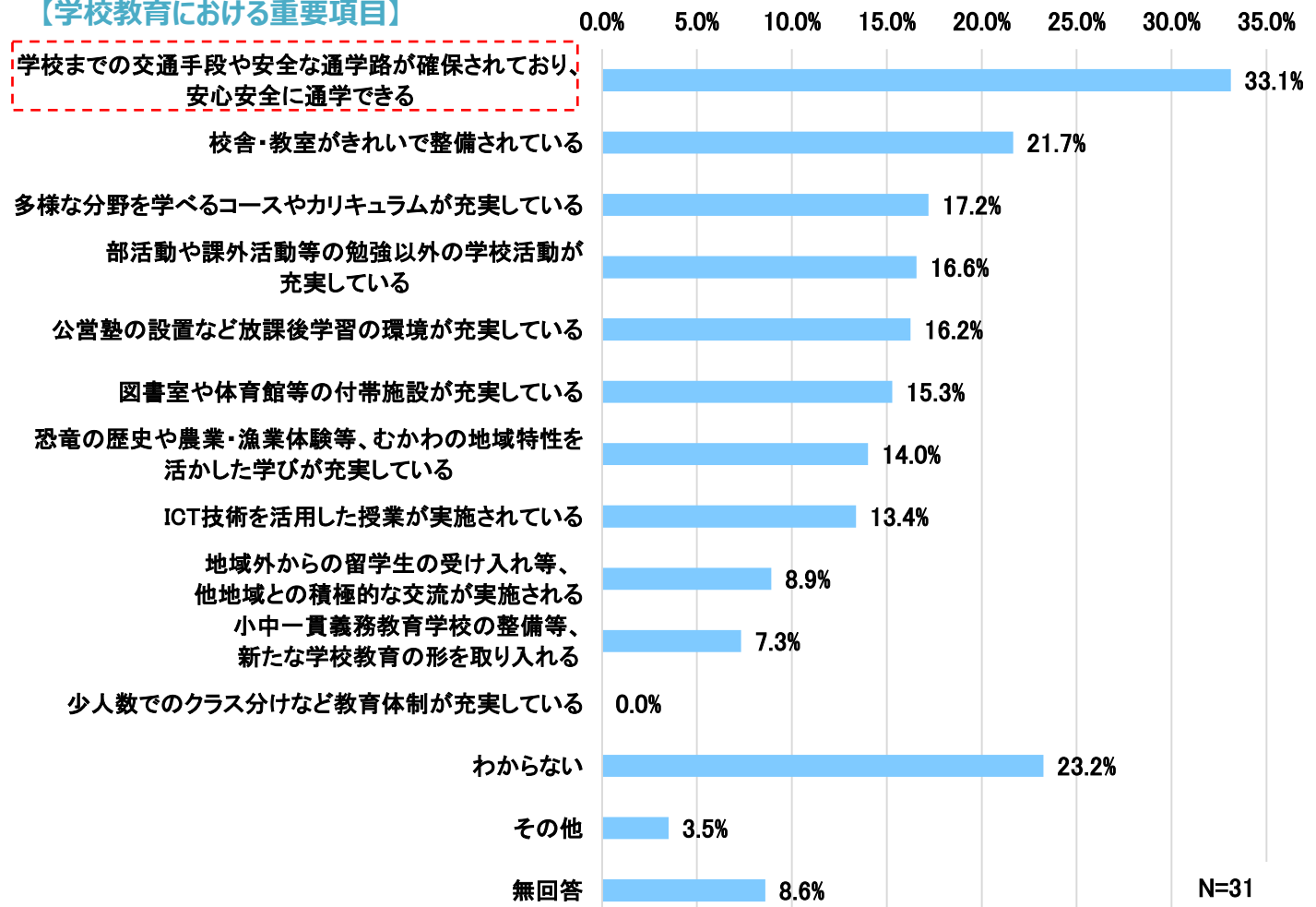
【バスを利用したくなるような取組や改善】



4 学校教育において特に重要だと思うこと

- ・「**学校までの交通手段や安全な通学路が確保されており、安心安全に通学できる**」が最も多く32.8%、次いで「**校舎・教室がきれいで整備されている**」が21.7%と同2項目の選択率が20%を上回った。

【学校教育における重要項目】



5 子どもを育てていく上で特に重要だと思う生活環境

- ・「**夜間や休日に診察してもらえる医療機関が充実している**」が最も多く41.1%、次いで「**防犯など安全性が確保されている**」が37.3%、「**学校給食の無償化・高校の学費の無償化など保護者の経済負担軽減策が充実している**」が32.8%と、同3項目の選択率が30%を超えている。

【子どもを育てていく上で重要だと思う生活環境】

